



～保護者の皆様へ～

新しい学習指導要領における評価について

1. 令和2年度までは4観点(国語は5観点)で教科によって観点の内容も若干異なっていました。

⇒ 昨年度からすべての教科が3観点となり、観点の内容も同じになります。

令和2年度まで多くの教科では	令和3年度からすべての教科で
関心・意欲・態度	⇒主体的に学習に取り組む態度
思考・判断・表現	⇒思考・判断・表現
技能	⇒知識・技能
知識・理解	



2. 3観点の中でも大きく異なる評価は「主体的に学習に取り組む態度」の評価です。

「関心・意欲・態度」＝「主体的に学習に取り組む態度」ではありません。

関心・意欲・態度(令和2年度まで)	主体的に学習に取り組む態度(令和3年度)
・授業態度 ・提出物・忘れ物 ・発表などの意欲 などが評価に大きく影響していました。	右の内容に加えて下のことが重視されます。 (1)知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた 粘り強い 取組を行おうとしている。 (2)(1)を行う中で、 自らの学習を調整 しようとしている。

○「主体的に学習に取り組む態度」とは、粘り強く、試行錯誤しながら学習に取り組もうとすること

〔例〕難しい問題でもすぐに諦めないで、粘り強く「どうしたら解けるのだろうか」とあの手この手を使って考えていくこと

各観点の評価の基準がこれまで以上に厳しくなっています。つまり、観点別評価もB評価がこれまで以上に増え、5や4の評定をとるのがより難しくなっています。

〔参考〕 以下は昨年と同様です。

1. 観点別学習状況

A評価:「十分満足できる」状況と判断されるもの

B評価:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

C評価:「努力を要する」状況と判断されるもの

2. 評定

5評定:「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの

4評定:「十分満足できる」状況と判断されるもの

3評定:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

2評定:「努力を要する」状況と判断されるもの

1評定:「一層努力を要する」状況と判断されるもの



切 り 取 り